

会社概要

会社名	沖縄セルラー電話株式会社
設立	平成3年6月1日
事業の内容	電気通信事業
本社	沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号
資本金	1,414,581千円

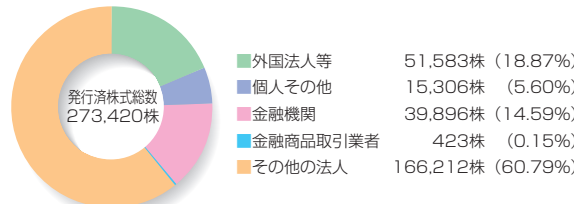
役員

取締役相談役	稲盛和夫
代表取締役会長	知念榮治
代表取締役社長	北川洋
常務取締役	高元盛兼
取締役	仲宗根朝整
取締役	仲地正和
取締役	崎間邦晃
取締役	小野寺正
取締役	高橋誠
取締役	湯浅英雄
常勤監査役	庄野実利
監査役	安里昌吉
監査役	當眞嗣
監査役	仲村文弘

株式状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
KDDI株式会社	140,860	51.51
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	11,515	4.21
メロンバンクエヌエートリーテイークライアントオムニバス	10,182	3.72
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	9,311	3.40
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)アカウントユーエスエル	6,133	2.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,032	1.84
株式会社沖縄銀行	4,720	1.72
株式会社琉球銀行	4,720	1.72
沖縄電力株式会社	4,720	1.72
琉球放送株式会社	4,720	1.72

株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 ジャスダック市場
公告の方法	電子公告 (URL http://www.au.kddi.com/chiiki/okinawa/index.html) *ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

お問い合わせ

〒900-8540 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル4F
 沖縄セルラー電話株式会社
 098-869-1001 (代表)
<http://www.au.kddi.com/chiiki/okinawa/index.html>



環境に配慮し、さとうきびの搾りカスを原料とする非木材紙「バガスシュガー」を使用しています。

OKINAWA CELLULAR TELEPHONE COMPANY

第19期 株主通信

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで



財務ハイライト

当期におけるトピックス

- 沖縄通信ネットワーク株式会社の第三者割当増資を引受け、平成22年1月に同社を連結子会社化、当期より連結決算を開始
- 固定通信事業に参入し、平成22年3月よりひかり高速インターネットサービス“auひかりちゅら*1”の提供を開始
- ARPU*2が前期比6.2%減少等で、減収・減益になったものの、au携帯電話累計契約数は50万契約を突破
- 株式会社アイディーズとの提携により、ASP*3事業として流通小売業向けクーポン配信サービス“eとく”を開始

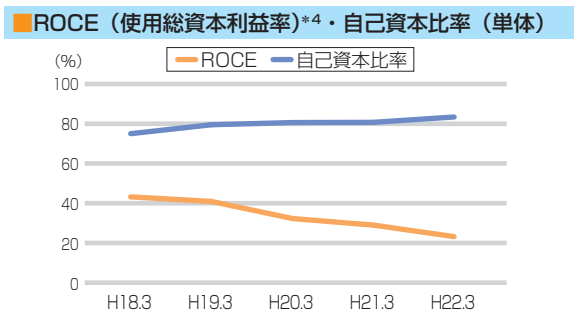
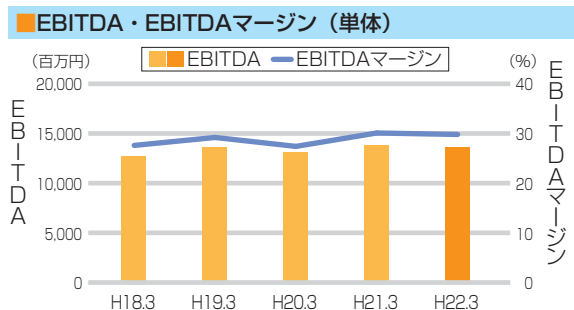
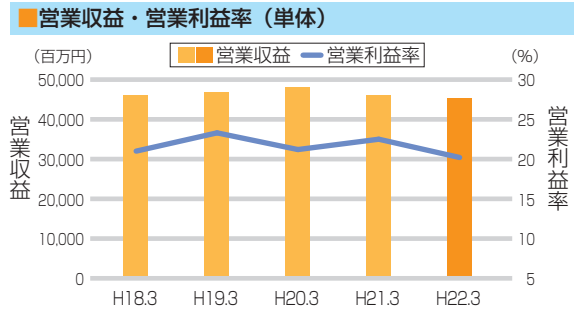
経営実績	(百万円)		
	当期(連結)	当期(単体)	前期比増減率(%)
営業収益	45,936	45,462	△1.4
営業利益	9,266	9,202	△11.1
経常利益	9,400	9,286	△11.7
当期純利益	5,963	5,892	△1.7

EBITDA	13,837	13,568	△2.3
設備投資	5,079	4,805	△43.0

財務状況	(百万円)		
	当期(連結)	当期(単体)	前期比増減率(%)
総資産	54,795	49,945	6.7
有利子負債	3,333	—	—
純資産	42,642	41,639	10.2

1株当たり情報	(円)		
	当期(連結)	当期(単体)	前期比増減率(%)
当期純利益	21,809.55	21,552.22	△1.7
純資産	152,550.86	152,291.32	10.2
期末配当金	—	3750.00(予定)*	0

※平成22年6月15日開催第19期定時株主総会で承認を予定しています。



社長インタビュー

第19期 (平成22年3月期) 決算を終えて。

主力の移動通信事業についてはARPUの減少、携帯電話販売台数の低迷で減収傾向が続いている。販売手数料は大幅に減ったが、通信設備の集約に伴う費用等で、残念ながら前期比減収、減益となった。但し、純増契約数は当初想定以上の実績となり、期末には県内の累計契約数が50万契約の大台に到達した。サービス開始来、お客様を始め、販売代理店やパートナー会社等から変わらぬご支援をいただいた結果であり、大変感謝している。今後は、スマートフォン、データ端末等といった新分野での競争や、LTE*5の導入に力を入れていくことになるが、お客様がau携帯電話を使っていると感じていただけるよう取り組んでいく。

固定通信事業に参入した。

移動通信事業の減収が避けられない環境下で、au携帯電話をお使いのお客様に付加価値の高いFMBC*6サービスを提供するため固定通信事業に参入した。携帯と固定のセット利用による料金割引や、無線LAN利用による携帯電話での高速パケット通信などによりお客様の利便性を高める。また、トリプルプレイ*7が充実した固定通信サービスが普及すれば、携帯電話のデータ通信にも好影響が期待できる。固定通信事業への参入は、既存のお客様の多様なニーズに応えていこうということであり、携帯と固定を併せてご利用になれば必ずメリットを感じていただける。

今期の経営方針は。

来年(平成23年)6月に当社は創立20周年を迎える。このようなタイミングで、当社は移動通信と固定通信を扱う総合通信事業者として更なる発展への一歩を踏み出した。

更なる成長には、足下を固める必要がある。社内では今一度、KDDIグループとして掲げるTCS*8という経営方針を共有し、各ステークホルダーの満足度を高めるということがどういうことか、意識を高めたい。

今まで支えていただいた方々に報いる意味でも、新たに開始した固定通信事業、ASP事業を含め、お客様の求めるサービスの拡充に努め、より、県民に愛される企業へ飛躍したい。



代表取締役社長 北川 洋

*1 「美しい」を表す沖縄の言葉。

*2 Average Revenue Per Unit。1契約あたりの月間平均収入。

*3 Application Service Provider。インターネットを通じたサービス提供。お客様は設備を構築することなく、安価な費用でサービス利用が可能。

*4 ROCE=営業利益÷(純資産+有利子負債)×100、有利子負債は前期末・当期末の平均値

*5 Long Term Evolution。次世代高速携帯電話サービス。

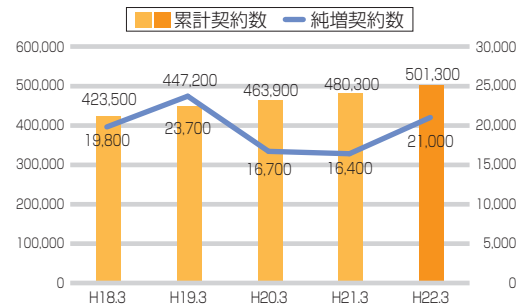
*6 Fixed Mobile & Broadcast Convergence。固定、携帯、放送の融合。

*7 固定電話、ひかり高速インターネットサービス、多チャンネルテレビ・VODサービスといったサービスを1つの回線で提供すること。

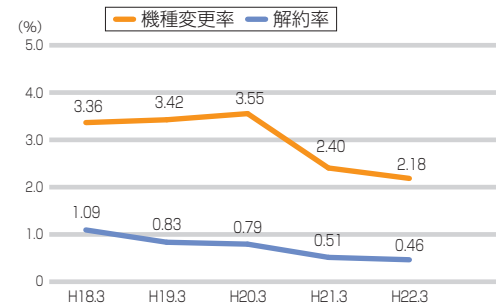
*8 Total Customer Satisfactionの略。

主な移動通信事業データ

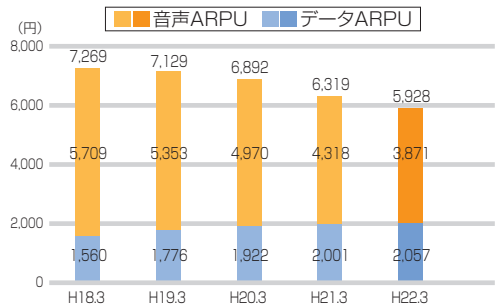
携帯電話サービス累計契約数・純増契約数の推移



機種変更率・解約率の推移



ARPUの推移



累計契約数

市場が飽和へ近づきつつあるなか、純増契約数が前期比28.1%増の21,000契約となりました。その結果、累計契約数は、501,300契約となり、50万契約を突破いたしました。

解約率

2年継続契約の満了期を迎えたことによる上昇要因があったものの、『誰でも割』や『指定通話定額』ならびに家族間通話の無料化の効果などにより、解約率が前期比0.05ポイント減少の0.46%と改善しています。

機種変更率

お客様の機種変更サイクルが長くなる傾向がみられ、前期比0.22ポイント減少の2.18%となりました。

総合ARPU

前期比391円減少の5,928円となりました。このうち、音声ARPUについては、家族間通話の無料化や『指定通話定額』導入による影響、ならびに月々の基本料金が低廉なシンプルプランの構成比の上昇を主因として前期比447円減少の3,871円となりました。データARPUについては、『CDMA 1X WIN』ならびにパケット通信料定額サービスの契約比率の増加により、前期比56円増加の2,057円となりました。

CAMERA! X BRAND

3つのデジタルカメラブランド。

Cyber-shot™ ケータイ
S001 by Sony Ericsson

3.3インチフルワイド VGA
有機ELディスプレイ*を搭載。
世界に強い、8.1メガカメラ搭載の「Cyber-shot™ ケータイ」。

📷 808 万画素
📏 約 3.3 インチ [有機EL/フルワイドVGA*1]

*Visual フルワイドVGAとして。



AQUOS SHOT
SH006 by SHARP

タッチで操る「Wi-Fi WIN」で、ネットがさらに自由になる。
12.1メガの高感度カメラ搭載モデル。

📷 1,210 万画素
📏 約 3.4 インチ [NEWモバイルASV液晶/フルワイドVGA]



EXILIM ケータイ
CA004 by CASIO

顔検出オートフォーカス、オートリサイズズームなど、多彩な機能で楽々撮れる。

📷 809 万画素
📏 約 3.1 インチ [有機EL/ワイドVGA*]



AQUOS SHOT
SH003 by SHARP

ハイスペックしかも使いやすい。
12.1メガ & 3.4インチタッチ操作。
フォトビューアーで楽々写真確認。

📷 1,210 万画素
📏 約 3.4 インチ [NEWモバイルASV液晶/フルワイドVGA]



EXILIM ケータイ
CA003 by CASIO

高画質写真も 20 枚 / 秒連写も。
12.2 メガ & 3 倍超解像デジタルズーム & ダイナミックフォト® 搭載。

📷 1,217 万画素
📏 約 3.3 インチ [有機EL/フルワイドVGA*]



ひかりではじまる、ちゅらライフ!



インターネットもおうちの電話もケータイも、
ぜ〜んぶまとめてauにおまかせ!
沖縄でたくさんの人に選ばれているauだからできる
納得のサービスをご用意しました。
ダンゼンお得で快適な「ちゅらライフ」が始まります。

auなら全部まとめて
おトクで快適!



沖縄に
『au ひかり』が
遂に登場。

auケータイ電話 + ひかり高速インターネット + 固定電話 + 多チャンネルテレビ

美しい、わたしたちの島うちなーに「ひかりサービス」を展開し、沖縄県民の皆様に対し
auケータイ電話と固定通信サービスを融合したFMBCサービスを
提案します。

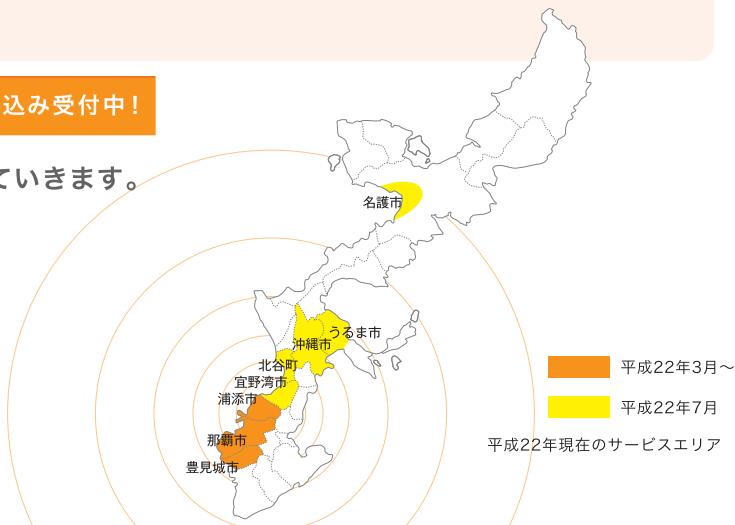
どんどん広がる提供エリア お申し込み受付中!

auひかりちゅらは、随時サービスエリアを拡大していきます。

■ サービス提供エリア
那覇市・浦添市・豊見城市

■ 平成22年7月までに順次拡大予定エリア
名護市・宜野湾市・沖繩市
北谷町・うるま市

※一部提供できないエリアがございます。

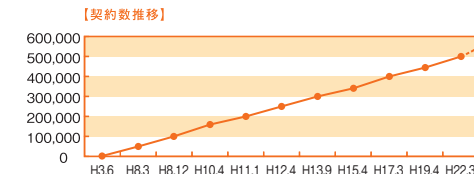


au 携帯電話の契約数が50万契約を突破

沖縄セルラー電話が提供しているau携帯電話の契約数が、
平成22年3月末に、50万契約を突破しました。

弊社は、平成3年10月「セルラーブランド」による
TACS方式*1の携帯・自動車電話サービスを開始しました。
以降、平成8年11月のPDC方式*2によるサービス開始、
平成12年7月親会社であるKDDIの3社合併に伴う「auブランド」の導入、
平成15年11月CDMA 1X WIN*3サービス開始などを経て、
平成22年3月末に50万契約突破となりました。

これからもお客様に安心してご利用いただくために多彩な
商品ラインナップや地域情報の提供、サービスエリア拡充など地元沖縄に
根ざしたサービスの更なる充実に努めてまいります。



*1 Total Access Communications System
米国で開発されたアナログ携帯電話システム

*2 Personal Digital Cellular
日本で開発されたデジタル携帯電話システム

*3 Code Division Multiple Access (CDMA)
高速大容量のデータ通信規格

那覇市営奥武山野球場の ネーミングライツを取得*

スタジアムの球場名看板には環境を考え、
二酸化炭素排出が抑えられる発光ダイオード(LED)
を採用、設置しています。 ※平成22年4月より3ヵ年



 **沖縄セルラースタジアム那覇**

 **沖縄セルラーパーク那覇**



■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)	当連結会計期間末 平成22年3月31日現在
資産の部	
固定資産	25,462
電気通信事業固定資産	23,154
有形固定資産	22,927
無形固定資産	227
附帯事業固定資産	58
投資その他の資産	2,248
流動資産	29,333
資産合計	54,795
負債の部	
固定負債	4,661
流動負債	7,491
負債合計	12,152
純資産の部	
株主資本	41,691
評価・換算差額等	18
少数株主持分	932
純資産合計	42,642
負債・純資産合計	54,795

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1
移動通信事業における800MHz帯周波数再編関連の設備投資は平成21年3月期の84億円でピークアウトし、平成22年3月期は47億円となりました。LTE関連の設備投資は、平成27年3月期までの5年間で累計30億円の見通しです。

POINT 2
当社単体での有利子負債はありませんが、沖縄通信ネットワークを子会社化したことに伴い同社の借入金3,280百万円等を含む有利子負債が3,333百万円となりました。

POINT 3
純資産は42,642百万円、自己資本は41,710百万円となり、自己資本比率は76.1%となりました。

POINT 4
少数株主持分は沖縄通信ネットワークの株主資本のうち、当社以外の少数株主の持分に属するものです。当社は平成22年1月に沖縄通信ネットワークの株式50.1%を取得し子会社化しています。

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)	当連結会計期間 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
電気通信事業営業損益	
営業収益	35,836
営業費用	23,217
電気通信事業営業利益	12,619
附帯事業営業損益	
営業収益	10,099
営業費用	13,452
附帯事業営業損失 (△)	△3,352
営業利益	9,266
営業外損益	133
経常利益	9,400
税金等調整前当期純利益	9,400
当期純利益	5,963

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1
事業別の業績の概要は以下のとおりです。
(単位：百万円)

	移動通信事業	固定通信事業	その他事業
営業収益	45,370	710	0
営業費用	35,980	748	84
営業利益	9,389	△38	△84
減価償却費	4,164	180	5
設備投資	4,703	285	59

POINT 2
営業収益営業利益率が20.2%、自己資本当期純利益率が15.0%、総資産経常利益率が18.5%となりました。

■ 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)	当連結会計期間 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,392
現金及び現金同等物の増減額	1,554
現金及び現金同等物の期首残高	1,089
現金及び現金同等物の当期末残高	2,643
フリー・キャッシュ・フロー*	3,946

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

* フリー・キャッシュ・フローは「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」の合計です。

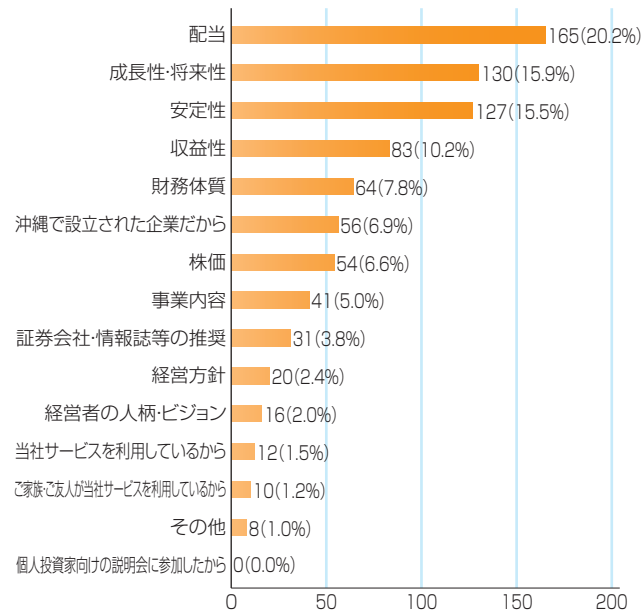
POINT 1
投資活動では、沖縄通信ネットワーク株式の取得による収入が695百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が4,222百万円ありました。

POINT 2
キャッシュ・フロー (CF) 対有利子負債比率 (有利子負債/営業活動によるCF) は42.1%、インタレスト・カバレッジ・レシオ (営業活動によるCF/利払い) は253.4倍となっています。

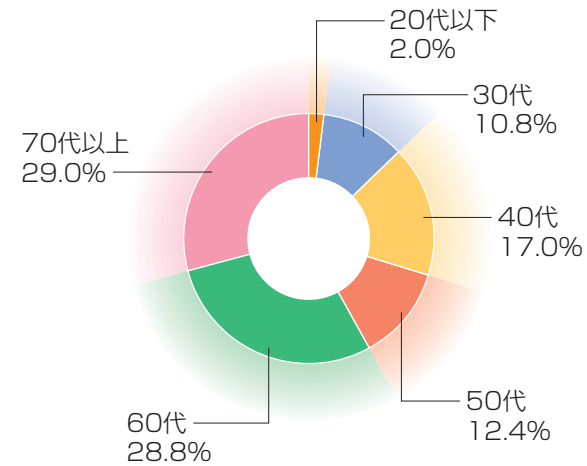
アンケートの実施結果

沖縄セルラー電話では、株主の皆さまから直接ご意見をお聞きし、ご意見・ご要望をIR活動に積極的に反映するため第19期中間株主通信で初めてアンケートを実施させていただきました。個人株主さまの14.4%に当たる株主の方からご回答をいただき、その集計結果の一部をご報告いたします。

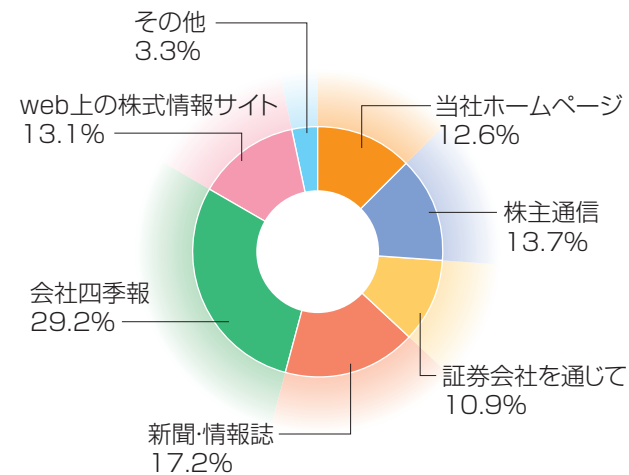
■ 当社の株式を購入された理由は？(複数回答)



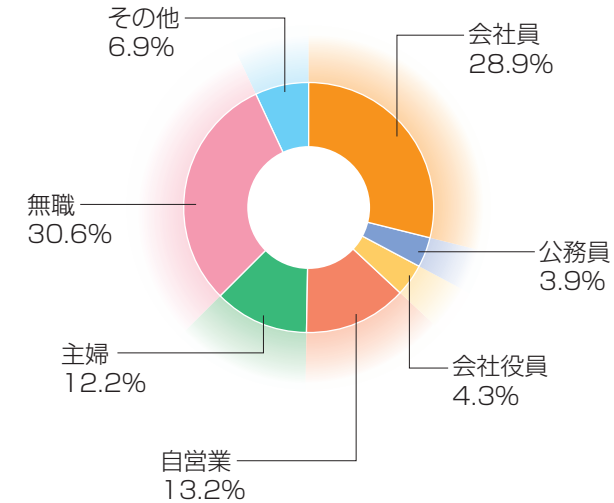
■ 年齢分布



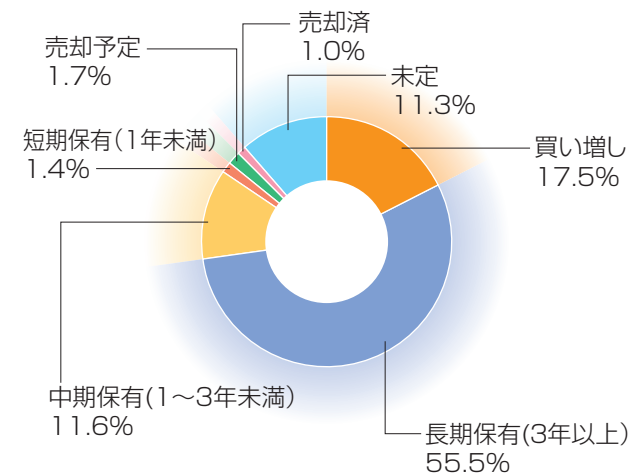
■ 当社に関する情報の入手方法(複数回答)



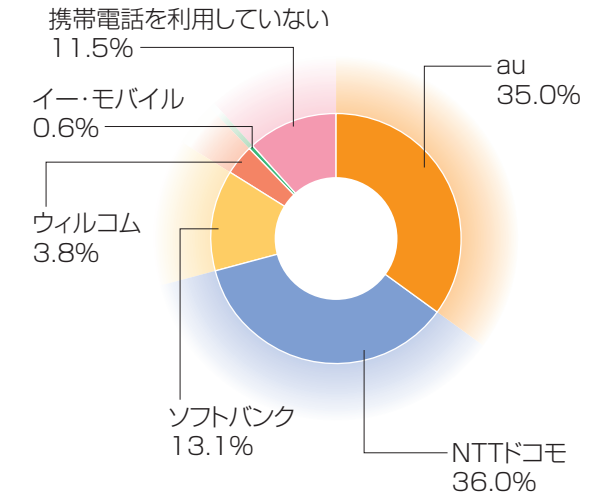
■ 職業



■ 今後の保有方針について



■ ご利用中の携帯電話



■ 当社株式を継続保有頂くために必要なことは(複数回答)

